



編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線 240

芦野児童動物園の仲間たち



ヒグマ

日本で最大の狩猟獣。体長約2m、黒と赤の二型があり、四歳で親になり、結婚シーズンは五月初旬から末月下旬で河川近くの森林を好み水泳が得意。雑食で70%が植物性、30%が動物性のものを食べ、人畜を襲うことがある。
このヒグマは六十一年一月生まれの北海道産です。

主な内容

泥にまみれて歓声響く 小学校で田植	2	○6月3日は運動会	6・7
学校部活動紹介	3	○今月の顔	8
『けんしんようチャリティー親子劇場』 に親子300人	4	○お知らせ	10・11
ねがいをこめて“植樹”	5	○金木病院カルテ 戸籍の窓	12

人口と世帯

	5月末現在	前年同月比
男	6,352人	- 137人
女	6,958人	- 81人
計	13,310人	- 218人
世帯数	3,893	

泥にまみれて歓声響く

小学校で田植

喜良市小学校 田んぼに入る前に先生から植え方などの説明を受け、半袖シャツに短パン姿になって皆一斉に泥状になった田んぼに「ズボツ」。六年生は昨年引き続き二回目とあって、田植え



▲6年生のじょうずな組（喜小）

の手つきも慣れたもの。指図どおり真つすく植えて貫禄の面持ち。

片や五年生は初めて。それもはだしとあって田んぼに入るのに最初は嫌がっていた生徒もあつたが、泥の「ヌメツ」とした感触にも慣れると、「ワーワーキヤツキヤツ」と、はしやぎ楽しみながら一株一株丁寧に植えていた。

嘉瀬小学校

五月二十五日、五所川原

市毘沙門地区の田んぼで嘉瀬小学校（原田恵喜校長）の五年生全員が毘沙門小学校の生徒と共同でもち米を植えた。

この日は風もほとんどなく、絶好の田植え日よりとなった。生徒達はこの日か

▼ほおかぶりがういういしい？（嘉小）



人達に手伝ってもらいながら、待ち望む秋の収穫そして「秋もち」に思いを馳せながら田植えを楽しんでいるようだった。

また、大半の子供達は田んぼ、それも田植え時の泥の中に入るのとはじめてとあ

◎家事係家庭裁判所

調査官の役割◎

家庭裁判所は、家庭に関する事件を専門的に取り扱っていますが、事件の解決には人間関係諸科学の知識が必要となるため、家庭裁判所調査官を配置しています。

例えば、離婚調停での話し合いが行き詰まって家庭裁判所調査官に調査を命じられた場合に、家庭裁判所調査官は、まず、妻や夫に個別に面接します。それは、事件の解決を図るために必要な事実関係を整理する作業であると同時に、妻や夫に自分の心と自分を取り巻く現実を冷静に見つめ直させる作業でもあります。また、子供の生活や気持ちなどの調査のために、家庭裁

判所調査官が家庭に向くこともあります。生活環境の観察、話しぶりや態度あるいは心理検査の結果などから子供の状態を把握しますが、子供がある程度自分の意見を言える年齢に達していれば、この調査は、子供なりに歩もうとしている方向を当人と一緒に確かめる作業ともなります。

家庭裁判所調査官が活用される場合は、ほかに情緒的に不安定になっている人へのカウンセリング、調停に出て来ない人への出頭の勧告などがありますが、いずれの場合も、関係者の秘密を守るために細心の注意が払われています。

学校部活動紹介

嘉瀬小学校 卓球部

ぼく達の学校の卓球部員は、六年生が男女合わせて十人、五年生が十人、四年生が三人、三年生が二人で合計二十五人です。
練習時間は、午後四時ごろから初めて、六時ごろまでです。
練習内容は、準備体操をして、体育館を声を出して二十周走ります。それからサーキットトレーニングを

で行っています。夏は、六時半ごろまでやることもあります。

練習試合では、五年生も上手でたまに負けたりもします。でも、これからの練習で五年生には絶対負けなようにがんばります。

してすぶりをやります。すぶりが終わってから、ロング、ショート、サーブ、スマッシュの練習をします。たまに、練習試合をやったりするので、とても楽しいです。

嘉瀬小学校は、冬の間スキーをやるため、卓球の練習はできませんが、体力づくりのためスキーもみんながんばりました。
今年はまだ試合が無いので、いつ大会があってもいいように、練習を毎日がんばっています。
まだ力はいっていないませんが、みんなまじめに練習しているので、今年の大会はみんな活躍してくれると思います。

主将 秋元 忍

金木中学校ソフトボール部

私達ソフトボール部は、一年生十人、二年生七人、三年生十一人計二十八人の部員からなっています。顧問は監督八年目の葛西先生です。先生の厳しい中にも思いやりのある指導で培われた、伝統のあるとても素晴らしい部でもあります。
私達三年生の大半の人は、今の高二の先輩達に憧れて、入部したのを感じています。その先輩達は、残念ながら県大会出場は実現できな

ったものの、私達に二つの優勝旗を残してくれたのでした。去年は残念な事に、その優勝旗を他校へ渡すことになってしまったのです。でも、金中ソフト部はそのまま引き下がっているような部ではありません。
そして待ち望んだ北五中選抜ソフトボール大会、一回戦、二回戦そして準決勝と勝ち進み、決勝戦で優勝候補の板柳と戦うことになったのです。守備、打力と

もにすばらしいものを持っているチームで、勝てるのかととても不安でした。しかし、優勝旗は取りもどしたい、そう思って力のかぎり頑張り、板柳を破ることが出来たのです。でも、私達の目標はもっと大きな所にあります。それは県大会出場という大きな目標です。目標実現のために私達は、今朝練習をやっています。

朝七時からの練習は、はっきり言ってとてもきついのです。きついけれども頑張っています。部長としての責任はとつても重いけれど、ソフト部みんな力を合わせて頑張っていきたい。そして目標に一步步近づいていきたいと思います。

ソフトボール部
主将 泉谷 久美



▲金木中学校ソフトボール部員

『けんしんよう チャリティー親子劇場』に親子300人 イソップに拍手、入場料全額町社協に寄付



▲熱演する黒石演劇研究会のみなさん

五月十五日、青森県信用組合の鹿内貢金木支店長が町社会福祉協議会を訪れ、四月十五日、中央公民館で行われた『けんしんようチャリティー親子劇場』での入場料五万五千六百円を寄付しました。

『けんしんようチャリティー親子劇場』は、青森県信用組合が金木支店開設二十周年を記念して、地元住民の社会教育及び社会福祉に寄与する活動により、地元への感謝の意味で昨年から実施しているもので、今年も黒石演劇研究会（黒石市・加賀谷治会長以下二十名）が出演した。

初めに子供たちと一緒に歌を歌ったり、スライドを使って昔話を紙芝居風に見せたりして会場を盛りあげた後、『イソップのお話』（四つのイソップのお話を登場する五人の子供たちとイソップが劇中で演じるオムニバス型式の作品）を上演した。

当日会場には開演の一時間ほど前から親子連れが続々とつめかけ、観衆は約三百人ほど。劇の節目節目で盛大な拍手を送っていた。また、公民館使用料がチャリティーということで免除となり、出演料やその他の経費を青森県信用組合が負担したため、入場料全額が寄付となった。

▼寄付金を手渡す鹿内支店長（左）



自動車税の納期限今年は7月2日です。

納税通知書の一枚目は納税証明書になります。

自動車検査証と一緒に大切に保管して下さい。

※納税貯蓄組合に加入している方は、組合を通じて納めましょう。

五所川原県税事務所 電話34-2111 内線210・211

木になる マーク

グリーンマークをご存じですか。
グリーンマークは、古紙を原料とした紙製品（雑誌、学習帳、トイレットペーパーなど）に表示されています。

このマークを幼稚園、小・中学校、高校、町内会や自治会などの団体で一定の点数をまとめると、苗木や球根などが配付されます。最近では、このほかに古紙を利用したノートや画用紙なども配付されることになりました。

グリーンマーク事業への参加などについては、次のところにお問い合わせください。
〒一〇四
東京都中央区銀座
銀座大塚ビル
二一六―十二
(財)古紙再生促進センター
グリーンマーク実行委員会
電話〇三―五四三―一四七〇



くろたきしずかちゃん(5歳)
金木旭ヶ丘団地

「大きくなったらケーキ屋さんになりたいです。」



▲植樹する参加者たち

ねがいをこめて「植樹」

金木町と金木営林署主催の平成二年度植樹祭が、五月十六日喜良市山国有林内の金木造林実験林で行われ、林業関係者をはじめ分収育林の「緑のオーナー」ら約二百人が参加、杉の苗木九百本を植えた。

大橋町長が「森林の崩壊で地球が危機に面しているなかで、緑を守り育てることとはすばらしいこと」とあいさつしたあと、早速植樹を開始、立派な森林になることに願いをこめて一本一本丁寧に植えられた。

いさつ、安田明郎金木営林署長が「今日植える苗木がうっそうとしげる森林になることを期待したい」などとあいさつしたあと、早速植樹を開始、立派な森林になることに願いをこめて一本一本丁寧に植えられた。このあと、町中央公民館において、山火事警防協議会を開催、山火事防止策を熱心に話し合った。

6月3日は運動会

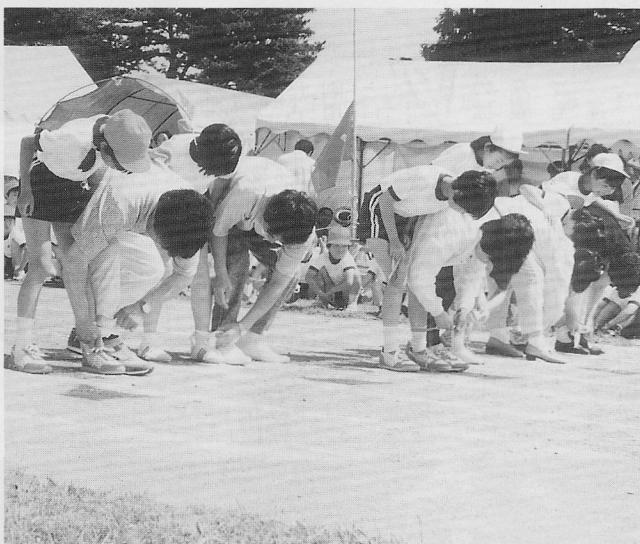


▲ハツラツ「宣誓ノ」(金小)

▶堂々の入場(金小)



▶二人三脚はむすびが大事(嘉小)



▲かわいい奴さん(嘉小)

▶お母さん体かたいよ!(川小)

